

# 世界の情勢(中東)Ⅱ

科目ナンバリング ARS-106  
【Ⅳ】 選択 2単位

伊藤 寛了

## 1. 授業の概要(ねらい)

中東は民族的にも、宗教的にも多様性に満ちた地域です。それがこの地域を学ぶ面白さでもあり、難しさでもあります。この授業では、歴史的経緯も踏まえながら、そのような多様性をもつ中東の各国情勢や地域的な課題、社会・文化的な特徴について学びます。

春期開講の「世界の情勢(中東)Ⅰ」で取り上げた内容を踏まえつつ、各国情勢として「イスラエル」「イラク」「シリア」「レバノン」を取り上げます。その上で、中東地域が抱える「難民問題」や「宗派対立」などについても学びます。これらの学習を通じて、中東に関する基本的な知識を身につけ、中東各国の特徴や課題について理解し、中東に関するニュースや新聞記事などを理解できるようになることを目指します。

## 2. 授業の到達目標

- (1)中東に関する基本的な知識を身につける。
- (2)中東各国の特徴や課題について理解する。
- (3)中東に関するニュースや新聞記事などを理解できるようになる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- (1)リアクション・ペーパーを含む平常点:45%
- (2)期末試験(またはレポート):55%

## 4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しません

参考文献

酒井啓子(2010) 『<中東>の考え方』(講談社現代新書) 講談社

末近浩太(2020) 『中東政治入門』(ちくま新書) 筑摩書房

小杉泰(1994) 『イスラームとは何か〜その宗教・社会・文化』(講談社現代新書) 講談社

その他の参考文献は授業中に適宜紹介します。

## 5. 準備学修の内容

各回の授業内容について図書館やインターネット、新聞などで調べるよう心がけてください(授業の理解度が違ってきます)。

## 6. その他履修上の注意事項

- ・春学期(前期)開講の「世界の情勢(中東)Ⅰ」を履修していることが望ましい。
- ・中東に関するゲストスピーカーによる講義を予定(調整が難しい場合は映像資料などを使用)。

## 7. 授業内容

- |        |                         |
|--------|-------------------------|
| 【第1回】  | ガイダンス・イントロダクション         |
| 【第2回】  | 中東現代史①                  |
| 【第3回】  | 中東現代史②                  |
| 【第4回】  | 各国情勢:イスラエル              |
| 【第5回】  | 各国情勢:イラク                |
| 【第6回】  | 各国情勢:シリア                |
| 【第7回】  | 各国情勢:レバノン               |
| 【第8回】  | 中東が抱える課題①:パレスチナ問題       |
| 【第9回】  | 中東が抱える課題②:スンナ派とシーア派     |
| 【第10回】 | 中東が抱える課題③:難民問題その1       |
| 【第11回】 | 中東が抱える課題③:難民問題その2       |
| 【第12回】 | 中東をめぐる国際関係              |
| 【第13回】 | 中東情勢1:ゲストスピーカー(または映像資料) |
| 【第14回】 | 中東情勢2:ゲストスピーカー(または映像資料) |
| 【第15回】 | 授業総括                    |